130 KANSAI UNIVERSITY
2014.05 Vol.432
関西大学通信

KANDAI STYLE

特集

関大生に聞きました!
関西大学、ここが「いいね!」

みんなで一緒に考えよう。【関大誌上教室】
関大生の“時間の有効活用法”

【VIVA!学び場】人間健康学部 福祉と健康コース
「基礎演習」山縣文治 教授

【働く関大人】ホテル業界／ウエディングプランナー
株式会社ホロニック　セトレ マリーナびわ湖
斎藤甲太さん

【なるほど・ザ・関大!】
関大の図書館は100年前、
わずか20坪(約66㎡)だった!

【今月のシンクさんアクトくん 関大生の友の輪】
化学生命工学部4年次生 山内美佳さん

関大生に聞きました！
関西大学、ここが「いいね！」

夏を間近に控え、爽やかなこの季節は学内の散策にピッタリです。
もしかすると広いキャンパスの中には、あなたがまだ知らない面白いことや場所が残されているかもしれません。
関大をくまなく知って楽しんでもらおうと、現役関大生11人に学内で特にお気に入りの場所や人物などを紹介していただきました。

千里山キャンパス

「いろいろなキャラの人に出会えるところ」が**いいね！**

法学部 4年次生
林 奈穂さん

左から、田中麻貴さん(法4)、林さん、山尾亮輔さん(法4)

関西大学には、約3万人の学生が在籍しているので、いろいろなキャラの人に出会うことができます。私もさまざまなキャラの友人たちと学生生活を楽しんでいます。

「資料所蔵数の多い図書館」が**いいね！**

文学部 4年次生
吉田 あかねさん

約220万冊を所蔵している総合図書館。貴重なものから新刊まで、さまざまな本や資料が所蔵されているので、研究活動がとてもはかどります。皆さんもぜひ有効に利用してみてください。

「知識・教養も深まり、自分自身も高められるカリキュラム」が**いいね！**

経済学部 2年次生
長谷川 文さん

大阪大学で行われた、安倍首相との懇談会の様子(2013年6月28日)

少人数制の授業で大学生としての学びを身に付けたり、授業の一環で安倍首相との懇談会に出席したりと、座学ばかりでなく、積極的に学ぼうとすることで、自分自身も成長できます。

「学内のコンビニのフレンドリーな店員さん」が**いいね！**

商学部 2年次生
塚本 海さん

千里山キャンパス内に5店舗あるコンビニ「Qeaセ」の店員さんが、親しみやすい方たちばかりです。昼休みや部活終わりに利用するのですが、いつもフレンドリーに接してくれます。

高槻キャンパス

「愛馬、千雄」が**いいね！**

総合情報学部 3年次生
豊志 佳那さん

1年次生から体育会馬術部に入部しました。一緒に頑張ってくれる千雄もかわいいし、馬術部でしか経験できないこともたくさんあって、毎日が楽しいです。

「自然いっぱいのキャンパス」が**いいね！**

総合情報学部 4年次生
湊 広輝さん

学内に「猪に注意!」のポスターが貼られていたり、帰り道で大きな鹿に遭遇したり、情報・メディア・コンピューターの授業や施設が充実しているキャンパスは、意外に自然であふれています。自然豊かな高槻キャンパスが大好きです。

南千里国際プラザ

「楽しい思い出が作れる多目的室」が**いいね！**

留学生別科
陳 慧慧さん

南千里国際プラザの多目的室では、多くの友人との交流、餅つきやクリスマスパーティーなどの大きなイベントを開催しています。キッチン付きなので、私が大好きなお料理もたくさんできるんです！

高槻ミューズキャンパス

「災害に強いキャンパス」が**いいね！**

社会安全学部 2年次生
猪谷 あやなさん

高槻ミューズキャンパスは、災害用備蓄倉庫など、さまざまな防災機能を備えています。「防災・減災」に関する資料を多数展示している安全ミュージアムもお薦めです。

「学生団体KUMC」が**いいね！**

社会安全学部 3年次生
北山 恵太さん

社会安全学部で学んだ知識をもとに、高槻ミューズキャンパス周辺の小学校で「防災・減災」や「交通安全」に関する特別授業を行っています。

堺キャンパス

「課外活動にも生かせる学部の学び」が**いいね！**

人間健康学部 3年次生
岡根 すずかさん

人間健康学部の体力科学やスポーツ運動学の授業で学んだ知識を、ATルーム(アスレチックトレーニングルーム)での活動に大いに生かすことができています。

「プロジェクトアドベンチャー」が**いいね！**

人間健康学部 2年次生
西田 拓司さん

人間健康学部の授業で使用するプロジェクトアドベンチャー(体験学習エリア)。恐怖感もありますが、仲間同士で支え合う協調性、チームワークを身に付けることができます。

みんなで一緒に考えよう。**関大誌上教室**

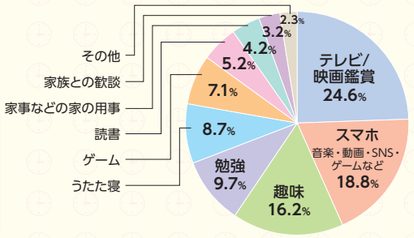
関大生の“時間の有効活用法”

関大生は普段一体どんな時間の過ごし方をしているのでしょうか。
大学での空き時間や自宅での自由な時間。時間の使い方次第で、
一日が有意義なものになったり無駄になったり。今回のアンケート結果やアドバイスを参考に、
日頃の自分の“時間”の使い方を見直してみては？
【アンケート期間：3月6日～26日 対象：関大生 回答者数：309人（男子169人　女子140人）】

家で

自宅での自由な時間（休日を除く）は、何をしていることが多いですか？（1つ選択）

男女別でみると、女子の方が33%と、「スマホ」を触っている率が高く、男子の方は、「勉強」と「ゲーム」の率が全体より高かった。また、学生生活や将来に向けての「目標」や「夢」があるか、と質問したところ、79.6%が「ある」、20.4%が「ない」と回答があったが、夢などが「ない」人の方が、ゲームをする率が17%と高めだった。



●「その他」にはこんな意見も…

学部・学年	性別	
社2	女	部活動の練習。
化生4	男	自由な時間がない。

生活リズムを聞きました。起床時間・就寝時間、勉強時間（試験期間を除く）は、どれくらいですか？

◎起床時間

1位	7時
2位	6時
3位	8時
4位	9時
5位	10時

◎就寝時間

1位	深夜0時
2位	深夜1時
3位	深夜2時
4位	23時
5位	深夜3時

就寝時間が深夜0時を回っている人が多い。

◎自宅での勉強時間

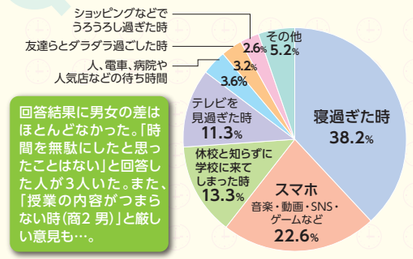
1位	自宅で勉強はしない
2位	30分
3位	1時間
4位	1～2時間
5位	2～3時間

試験期間以外は、自宅ではあまり勉強しない学生が多いよう。1時間以内の人が全体の74.1%だった。

●「その他」にはこんな意見も…

学部・学年	性別	
商3	女	資格のテスト前は、1日8時間程度。
化生4	女	テスト前に集中してやる。

あなたが「時間を無駄にした!」と特に思うのは、どのような時ですか？（1つ選択）



回答結果に男女の差はほとんどなかった。「時間を無駄にしたと思ったことはない」と回答した人が3人いた。また、「授業の内容がつまらない時（商2 男）」と厳しい意見も…。

自宅での「空き時間」に関する有効活用のアドバイスを教えてください。

学部・学年	性別	
文2	女	スマホを触ってしまうことが多いですが、「○時まで!」と使う時間を決めてしまうことでダラダラ過ごすのを避けるようにしています。
外3	女	自宅は外で頑張っている自分を癒やしてくれる場所だと思うので、生産的なことはせず、思いのままに過ごすべきだと思います。
情3	男	できるだけ自分でご飯を作り、自炊できるように練習しています。
化生4	男	集中して勉強するために、勉強机の目に見える範囲には、ゲームや漫画は置かない。
化生4	男	今週やるべきことなどをまとめて書いて、いつも見て忘れないようにして空き時間に行う。
理工学研究科M2	女	アルバイトや部活動をして、家で無駄に過ごす時間をつくらない。

1日何時間あれば いいと思いますか？

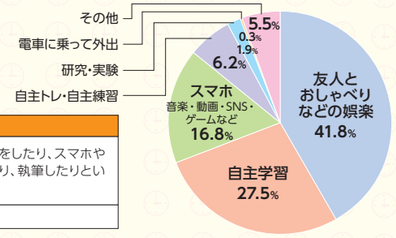
1位	24時間
2位	30時間
3位	48時間
4位	36時間
5位	26時間

「24時間」が1位だったが、やはり時間が足りないと思っている学生も多いよう。中には「∞」と回答した人も3人いた。

大学で

大学での授業の空き時間（昼休みを除く）は、何をしていることが多いですか？（1つ選択）

男女別でみると、全体的に差はほとんどみられなかった。また学生生活や将来に向けての「目標」や「夢」が「ある」人の方が「ない」人に比べ、「自主学習」の割合が8ポイント高かった。

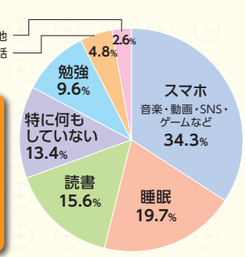


●「その他」にはこんな意見も…

学部・学年	性別	
文2	女	スケジュール管理をしたり、スマホや本で調べ物をしたり、執筆したりといろいろ雑用をする。
化生4	男	空き時間がない。

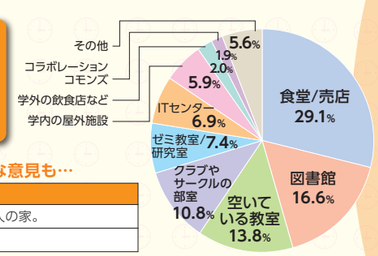
通学時間（電車やバス）は何をしていることが多いですか？（2つ選択）

「自転車通学」の人が4人いた。また男女別でみると、「睡眠」と回答した割合が女子の方が多く、「特に何もしていない」と回答した人は男子の方が多かった。



大学での授業の空き時間（昼休みを除く）は、どこにいることが多いですか？（2つ選択）

「誰ということが多いですか?」の質問には、「友達」と回答した人が男女とも6割以上とダントツ。次いで「1人」と回答した人が3割近くいた。



●「その他」にはこんな意見も…

学部・学年	性別	
社3	男	下宿先の友人の家。
政策3	男	談話室。

大学での「空き時間」に関する有効活用のアドバイスを教えてください。

学部・学年	性別	
法3	男	図書館で新聞各紙を読めばいいと思う。
法3	男	次の授業に備えて、頭を休める。
文3	女	「この空き時間はあの授業の課題を進める」「この空き時間はサークルで過ごす」と、サイクルを作るようにしています。そうすると、「あの課題をやるのを忘れていた!」とならないです!
外4	男	国際部の交流室で外国人と交流して、国際交流の在り方や、外国人同士の相互理解について考える。
人4	男	友人と楽しい時間を過ごす。
環都2	男	関大を歩き回って新たな発見をする。

OPINION OF PROFESSOR

教育推進部　岩﨑 千晶助教

皆さんは、自由時間にテレビやスマホに費やす時間が多いようですね。一方で、時間を無駄にしたと思う時にもまた、メディアの利用が挙げられています。時間があれば手元にあるスマホをついつい見てしまうけれど、見た後に後悔してしまう、そんな生活があるのかもしれません。

1週間あるいは1日のうち、何にどのくらいの時間を使っているのかに関して、皆さんは把握できていますか?例えば、手帳を使って1日の行動を記録し、可視化することで、自分が何にどのくらいの時間を使っているのかが分かります。自分の行動パターンを明らかにすることは、無駄な時間を減らすことにもつながるかもしれません。

また、時間の有効利用には、授業の空き時間をどう活用するかも重要ですね。凜風館1Fのコラボレーションコモンズでは、ラーニングcaféや外国語会話交流会を開催しています。学部や学年や国籍を超えた友人ができるチャンスです。ぜひ活用してみてください。

次号のテーマは…「関大生のSNS活用法」

FacebookやTwitter、LINEなど、近年急速に普及してきた「ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）」。多くの関大生もSNSを使用し、複数のSNSを併用している関大生もいることでしょう。次号（6月号）では関大生のSNSの活用方法をリサーチします。

5月号「関大誌上教室」アンケート プレゼント当選者の発表について

今号の「関大誌上教室」アンケート「関大生の“時間の有効活用法”」にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。プレゼントの発表は、当選者のみ、インフォメーションシステム「個人伝言」で連絡します（5月1日に通知予定）。
「関大誌上教室」のアンケートは次号以降も行う予定ですので、ご協力をよろしくお願いします。

働く関大人 kandaijin

ホテル業界／
ウエディングプランナー

株式会社ホロニック
セトレ マリーナびわ湖
斎藤甲太さん

大阪府阪南大学高等学校出身
2010年法学部卒業

仕事を通じて自分の可能性に挑戦しています。

琵琶湖の美しい風景が訪れる人を迎える「セトレ マリーナびわ湖」は、地域コミュニティーの形成にも取り組む新しいスタイルのリゾートホテルとして業界で知られています。同ホテルのウエディングプランナーとして活躍する斎藤甲太さんは、一時は法曹界を目指していましたが、経営母体の株式会社ホロニックの企業理念に大きな可能性を感じ、入社を決意しました。

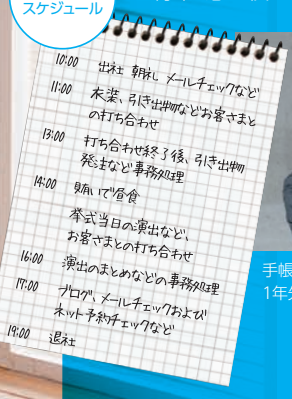
「ホロニックの主軸はブライダル事業です。現場を経験するために、入社3年目にウエディングプランナーに任命されました。ところが全てが未知の世界。思うように契約が取れず、最初の1年間は戸惑っていました」と任命当初を振り返ります。

当初の1年間は「私にしかできないことは?男性のウエディングプランナーだからこそできることは?」と自問自答し、トライ&エラーを繰り返しました。その結果、斎藤さんが得た答えは「挙式は新婦が中心になりがち。同じ男性として新郎の思いを引き出すようにしようと思いました。でも、最も大切なことはお客さまに『このプランナーと大切な日を迎えたい』と思っていただくことだと分かりました」。

試行錯誤の末、自分の営業スタイルをつかんだころから契約数が伸び始め、手応えとやりがいを感じるようになったそうです。

「在学中、何事にも積極的に取り組むことを心掛けていたことが、仕事に生きていると感じます。学業も仕事も自分から発信することが基本。皆さんも、“自分発信”で大学時代を過ごしてください。将来、必ず役に立ちます」と笑顔で語ってくれました。

ある1日のスケジュール



手帳、カレンダー、パンフレットは、打ち合わせには欠かせません。半年先、1年先の挙式の打ち合わせも多いので、カレンダーは2015年度版です。

WEDDING PLANNER

VIVA! 学び場

人間健康学部 福祉と健康コース

「基礎演習」

山縣文治 教授

今後の学びと社会に出るための「基礎能力」を身に付ける。

毎回異なる課題をグループで作業し完成させることで、自分自身を再確認し実社会での人との関わり方などを学びます。

この基礎演習では大きなテーマを設定せず、福祉コースの学生たちが、社会人としての基礎的な力を身に付けることを目的にしています。計5回ある授業のうち1回は外部の方を招き、例えば「虐待の実体験とそれをどう乗り越えたか」のような、福祉の場面で起こっている話などを聴き、それ以外の授業では課題をグループで作業することによって自己アピールや共同作業の能力アップを目指します。

評価は教授が行わず、学生が相互に採点し判定。手を抜くとはっきりと点が下がり、グループでの作業のためグループ全体にも迷惑がかかる。毎回異なる課題の難易度は高くないが、時間内に作品を作り上げ、最後の発表をどのようにするかを全て学生の自主性に一任。そういう自由な環境の中、いかに集中力を高めて作業に没頭できるのか。山縣教授は「あえていつもお茶やお菓子などを持ち込み、学生に話しかけたりして、できるだけ邪魔をする」と言います。教授に対して「話しかけないでください！」と文句を言う学生もいるそうですが、それも障がいを乗り越えてゴールにたどり着く大切さを学んでもらう方法の一つ。「グループ作業を経験することで個人での作業を好むのか、グループ作業が好きなのかが明確になり、卒業演習に向けて自分自身のスタイルを見極める選択材料となります。それにグループ作業が苦手な人も、社会に出て仕事をするとなると、相性の悪い人間とでもうまく距離を保って折り合いをつけていかなくてはならず、そういうことを少しでもここで経験し、学んでもらえたら。頭で理解していても、実践ではなかなかできないことを、今のうちに身に付け、社会で生かしてほしい」。それがこの授業一番の目的なのです。

米本明里さん（3年次生 取材時は2年次生）

山縣先生の授業はグループ活動が多いので、自分だけの価値観にとらわれず周りの意見を聞き、取り入れることが楽しいし、たくさんのことを学べます。プレゼンテーションなどもあって、「働くための準備」という感じです。

井上洋平さん（3年次生 取材時は2年次生）

聴くだけの授業とは違い、コミュニケーションが大切になる授業です。将来、海外ボランティアに参加することが夢なので、難しくてもみんなで協力し合い、夢の実現のためにコミュニケーション能力をアップしたいと思います。

人間健康学部
山縣文治 教授

授業は楽しく参加できるように工夫していますが、実際に自分で行動しないと完成はしません。ネットで調べてヒントを見つけても、完成は自分自身で。そこから時間や自分に与えられたルールを守り、グループの分担作業でスケジュール管理など、少しでも身に付けてもらえたらと思います。

関大の図書館は100年前、わずか20坪(約66㎡)だった!

1914年(大正3年)【本学初の独立した図書館】

大阪区裁判所の土蔵を購入し、図書館として改築しました。わずか20坪の小さい建物でしたが、独立した図書館を待ち望んでいた学生たちは、ここで勉学に励みました。

福島学舎・中央が図書館
(年史編纂室蔵)

1928年(昭和3年)【本学初の鉄筋コンクリート】

総面積800坪の本学初の鉄筋コンクリート造りの建物。開館当初は15,821冊(和書9,515冊 洋書6,306冊)しかなく、本学教授の欧米留学に際しては、図書購入が命じられるほどでした。

千里山図書館・現簡文館(年史編纂室蔵)

1955年(昭和30年)【簡文館を増築】

円型新館に開架閲覧室が移されました。

現簡文館(年史編纂室蔵)

現在、簡文館は関西大学博物館などの建物となっています。

博物館は、1994年(平成6年)に開設され、元大阪毎日新聞社社長、本山彦一氏のコレクションや、重要文化財16点、重要美術品12点を含む、膨大な資料を収集・展示しています。また、簡文館は、2007年(平成19年)には登録有形文化財(建造物)として、文化財登録原簿に登録されました。

1964年(昭和39年)【専門図書館開館】

千里山図書館が法・文両学部学舎の近くにあったため、主として経済・商・工各学部の教員と、専門課程の学生を対象とした第2の図書館として完成しました。現在はITセンターとなっています。

現円神館(年史編纂室蔵)

1985年(昭和60年)【総合図書館開館】

地上3階、地下2階、総面積21,750㎡の日本でも有数の規模を誇る総合図書館が開館しました。所蔵数は220万冊を有し、学習用図書館と研究用図書館の両機能を兼ね備えています。

工事の様子

現在と比較してみると…

関西大学図書館 100年のあゆみ展

関大図書館が創設100周年を迎えるにあたり、これを記念して、5月18日(日)まで、『関西大学図書館 100年のあゆみ展』が開催されています。

図書館の歴史年表パネル、追想写真、戦前の図書館委員会記録など、図書館運営の歴史的資料などを展示していますので、ぜひ、足を運んでみてください。

期間 5月18日(日)まで
時間 午前10時~午後9時(日曜・祝日は午後5時まで)
場所 関西大学千里山キャンパス
関西大学総合図書館1階展示室

図書館創設100周年・博物館開設20周年を祝して 連携企画展『関西大学名品万華鏡―館館選イチオシ!―』を開催

関大図書館が創設100周年、博物館が開設20周年の節目を迎えることを記念し、連携企画展『関西大学名品万華鏡―館館選イチオシ!―』が開催されています。これは2016年の本学創立130周年記念事業の一環として行われており、これまで一般公開されることの少なかった貴重な資料が数多く展示されています。

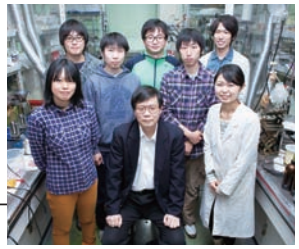
期間 5月18日(日)まで(日曜・祝日は休館・5月18日除く)
時間 午前10時~午後4時
場所 関西大学千里山キャンパス簡文館内
関西大学博物館

今月のシンクアクトさんくん
関大生の友の輪

化学生命工学部4年次生

山内美佳さん

学校でも実社会でも勉強に終わりはありません。



光・高分子化学研究室

化学生命工学部 化学・物質工学科「光・高分子化学研究室」では青田浩幸教授の指導の下、人工光合成による太陽エネルギーの化学エネルギーへの変換や、太陽エネルギーから電気エネルギーへの変換（太陽電池）を可能にする高分子の合成をテーマに研究。女性7人を含む17人が「持続可能社会」を実現すべく日々、研究に没頭しています。

昨年10月から光・高分子研究室で山内美佳さんは、人工光合成や太陽光発電の研究をスタートさせました。「子どものころから“もの作り”が大好きな私は、答えが明確であやふやさがない理系にも楽しさを感じていて。その二つの面白さを兼ね備えていると思えたので、化学生命工学部を受験したんです」。

実は山内さんが今の研究室を選んだのは、もともとエネルギー系に興味があったこともありますが、入学前の3月11日に発生した東日本大震災の混乱を目の当たりにし、あらためてエネルギー需要・供給の問題を真剣に考えるようになったことが選択動機だそうです。

研究は「人工光合成」がテーマ。太陽光からエネルギーを変換する「光合成」の仕組みを、人間が化学の力を使って作る。精度と効率を上げるにはどうすればいいのか。そのために「葉っぱを真似し、葉っぱから学ぶ」のだそうです。「堂々とした態度で卒論の中間報告や研究発表をされていた諸先輩方のように、私も胸を張って自身の研究を人に伝えられるようになりたい。厳しい指摘にも自信を持って答えられるようになりたいですね」と山内さん。

研究と並行して就職活動にも意欲的に取り組むつもり、という彼女の第一志望は、やはり“研究職”。研究者としての将来を考え、大学院への進学も視野に入れています。“研究職”以外でも、最近増えている技術系の営業職も候補の一つで、“リケジョ”（理系女子）の強みを生かし、化学メーカーや電気関係なども考えているそうです。

「高校時代、理解できるまで時間を割いてくれた先生との出会いで化学への理解が深まり、楽しさも覚え、今こうして頑張っています。大学時代も実践したけれど、社会に出てからも専門分野だけにこだわらず幅広く学び、自分に自信を持てる人間になるのが目標です」常に好奇心旺盛で勉強熱心な山内さん、白衣の白さに負けないような輝く笑顔が印象的でした。

次回は、山内さんからのご紹介で政策創造学部の原雄貴さん（2年次生）が登場。お楽しみに!

Mika Yamauchi

平成26年度 学校法人関西大学 予算の概要

― 次世代グローバルリーダーを育成 ―

この伝統を、超える未来を。
130 KANSAI UNIVERSITY

学校法人関西大学 理事長 池内 啓三

1　予算編成の概要

平成26年度予算は、平成26年3月27日開催の理事会において承認されました。

関西大学は、平成20年に策定した長期ビジョンに基づく10年間の長期行動計画を推進する中で、教育、研究、社会連携、国際化などの多様な分野において、その中核を担う有為な人材を輩出するため、たゆまぬ改革に取り組んできました。さらに、平成25年5月には、後期5年間の計画内容と遂行体制の中間見直しを踏まえ、改訂版を公表しております。

本予算は、高等教育への期待がますます高まるなか、「2010プロジェクト」に取り組んだ本学が、目指す将来像の実現に向け、総合学園としての真価を発揮するべく、必要な諸施策を盛り込んで編成いたしました。

平成26年度は、本学のグローバル化をさらに進展させ、未来への飛躍を実現する「次世代グローバルリーダー」の育成を推進するため、「関西大学ならではの強みと特色」を活かした、全学的な国際化教育プログラムとなる「関西大学グローバルフロンティア（KUGF）」プログラムを新たに開設します。学生の海外留学の促進と世界各国からの留学生受入れの拡大を図るなど、キャンパスの国際化の実現を目指します。

また、本学は2年後の平成28年に創立130周年を迎えます。「伝統への自信 未来への考動 ～『学縁』を世界に広げよう～」をコンセプトに、「国際性」、「知性と先進性」、「歴史と伝統」の3つをテーマにした、5つの記念事業を計画しており、「この伝統を、超える未来を。」をキャッチコピーに、130周年の佳節にふさわしい記念事業と募金事業を推進してまいります。

平成26年度の事業計画は、次の「2　事業計画の概要」のとおりです。これらの諸事業を推進するために、新規事業は戦略的に予算を配分し、既存事業についてはゼロベースの視点から費用対効果を検証し節減を図るなど、限られた財源の有効活用を徹底するとともに、財務基盤の安定に向けて努力する所存です。

2　事業計画の概要

平成26年度における教育研究活動の事業計画の主なものは、次のとおりです。

(1) 教育研究活動関係

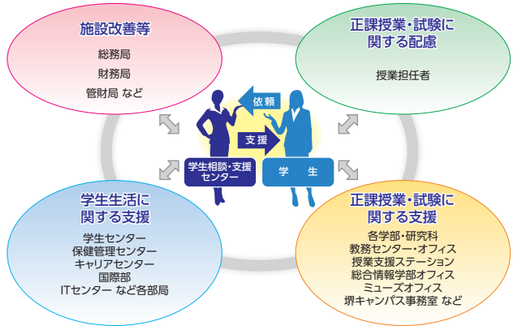
ア　全学的な入学前教育プログラムの検証と改善

高大接続パイロット校推薦入学制度及びSF入試制度の改革を契機として、これまで学部が独自に行っていた入学前教育プログラムを検証し、全学的な見地から「教育の質保証」を企図した新たな入学前教育プログラムを開発し、導入します。

イ　修学支援及び学生相談体制の整備

学生相談全体のハブ機能を強化するため、全学に分散する他の相談窓口との連携・協力システムの整備・充実を図ります。

また、学生の今日的な課題を踏まえ、学生をサポートするための研修などに取り組みます。



ウ　人間健康研究科修士課程の開設

平成25年10月31日付で文部科学省の認可を受けた人間健康研究科修士課程を平成26年度に開設しました。

高度専門職としての健康運動指導者や体育スポーツの指導者、地域福祉の実践者の育成、あるいは学際的かつ実践的視野を持った研究者の育成を目指します。

エ　「次世代グローバルリーダー」育成に向けた全学的な国際化教育プログラムの開設

新たな国際化教育プログラムとなる「関西大学グローバルフロンティア（KUGF）」プログラムを開設し、必要な語学力の修得とグローバル人材に必要な知識・経験を積むなど留学に特化した教育体制を推進します。また、本学が単位互換の協定を結んでいるASEAN諸国をはじめ、欧州・北中米などの大学への留学を促進します。

オ　イノベーション創出に向けた産学官連携事業の推進

本学がハブとなって産学官の橋渡しを行い、国際的な課題解決や地域に密着した多様な連携の創出を図り、総合大学の利点を活かした、特色あるイノベーションの創出モデルを示します。また、平成25年度に梅田の「ナレッジキャピタル」に開設した「関西大学うめきたラボラトリ」においても、企業等との連携・研究の機会を創出し、さらなる産学官連携の高度化を目指します。

関西大学うめきたラボラトリ

カ　携帯情報端末に対応した無線LANの増強などの継続的な整備

スマートフォンやタブレットPCなど次世代の携帯情報端末利用者の急速な拡大に対応するため、全キャンパスでの無線LANアクセスポイントを増強します。さらにネットワークへの接続手順をより簡素化するなど、利用者の利便性の向上を図ります。

キ　キャリア形成及び就職支援の充実

複数キャンパス化及び各学部・研究科の特性に対応したキャリア形成・就職活動支援プログラムを推進します。また、学生一人ひとりの勤労観・職業観を育成し、自らのキャリアを自ら決定できる力を育むよう、キャリア形成を支援するとともに、就職活動の後ろ倒しに伴う、早期キャリア教育の充実を図ります。加えて、多様なニーズに応じた各種就職支援行事を全学的に展開します。

また、社会から求められる「ビジネスリテラシー」と「グローバルリテラシー」を涵養するため、下位年次対象の海外ビジネス体感プログラムをはじめとした国際インターンシッププログラムの充実など、グローバル社会で活躍できる人材の育成を目指したキャリアプログラムの充実を図ります。

大学院生（専門職大学院・後期課程修了生を含む。）に対しては、外部の専門機関との連携も視野に入れた就職支援体制を強化します。

この他にも、各学部・大学院における教育改革、教育・研究の充実に係る人的基盤の強化、各界で活躍中の方々を客員教授として招聘するなど、教育研究の質の向上のための様々な施策を推進いたします。

(2) 教育研究施設設備の整備充実関係

ア　第4学舎第2実験棟建替工事

平成25年11月に着工した第4学舎第2実験棟が、平成26年9月に竣工します。

新たな実験棟は、建築面積806.99㎡、延床面積約3,901.71㎡、鉄骨造・鉄筋コンクリート造地下1階地上4階建で建設し、地下1階に廃液処理場や分析測定室、1・2階を研究室ゾーンとして個人研究室等8部屋、研究室6部屋、3・4階を実験ゾーンとして教育用化学実験場を設置します。また、壁面には屋外ルーバーを使用するなど環境フィルターを設置し、景観を創出しつつ省エネ効率を高めます。

第4学舎第2実験棟　イメージパース

イ　第3学舎耐震改修及びリノベーション工事

第3学舎1号館の耐震改修を行い、合わせて学舎全体のリニューアルを年次計画で行います。

平成26年度は、1号館の耐震改修工事のほか、1号館・2号館において、現行のカリキュラム体系に即したゼミ教室の拡充やＡＶ設備の更新など教育環境の整備、エレベータの更新、マイクロコージェネレーションシステムを導入した自家発電の機能の確保、その排熱を利用した空調設備の設置、照明のLED化など省エネを目的としたリニューアルを行います。

ウ　第4学舎耐震改修及びリノベーション工事

第4学舎1号館及び2号館（研究棟）の耐震改修工事及びリニューアルを年次計画で行います。加えて学舎狭隘化に伴う既存2号館（実験棟）の取り壊しを行い、新棟建築を行うほか、イノベーションハブの計画を検討するなど、教員と学生が一体となって研究活動が行える環境の整備に取り組みます。

平成26年度は、2号館（研究棟）で、耐震改修工事（2年計画）やエレベータの更新、マイクロコージェネレーションシステムを導入した自家発電の機能の確保、その排熱を利用した空調設備の設置、照明のLED化、屋上防水の劣化改修や省エネを目的としたリニューアルを行います。

3　収支予算書

予算時も年度末財政をよりわかりやすく

予算書については、私立学校振興助成法による学校法人会計基準に定められた『資金収支予算書』と『消費収支予算書』の2種類を作成することになっています。

『資金収支予算書』は、当該年度における学校法人全体の諸活動の計画を、予算編成を通じて計数化することにより、収入と支出を科目別に明らかにし、かつ、支払資金の収入と支出のてん末を明らかにするものです。

『消費収支予算書』は、当該年度における学校法人全体の諸活動の計画を、消費収支計算の基準に基づいて計数として表示したものです。その年度の予算における消費収支の均衡状況とその内容を明らかにし、学校法人の経営状況が健全に維持されているかどうかを示すものです。

『貸借対照表』は、学校法人の一定時点における資産、負債、基本金、消費収支差額をもって財政状態を示すものです。決算時に作成することになっていますが、本学では予算時にも年度末の財政状態をよりわかりやすくするために『予想貸借対照表』を作成しています。具体的には、平成24年度決算の『貸借対照表』に平成25年度補正後予算を加味して平成25年度末とし、さらに平成26年度予算を加味して平成26年度末の財政状態を予想したものです。

4　収支予算の概要

(1) 資金収支予算について

平成26年度資金収支予算は、12頁に掲載の『資金収支予算書(総括)』のとおりです。

資金収入は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、補助金収入などの法人に帰属する収入のほか、前受金収入なども含め、549億1,800万円となりました。

資金支出は、教職員の人件費、教育研究活動及び法人の運営に必要な諸経費、施設設備費のほか、借入金返済などの支出も含め、529億6,800万円となりました。この結果、差し引き19億5,000万円を前年度繰越支払資金111億8,500万円に加え、次年度繰越支払資金は131億3,500万円となりました。

(2) 消費収支予算について

平成26年度消費収支予算は、12頁に掲載の『消費収支予算書(総括)』のとおりです。

帰属収入は、学生生徒等納付金、手数料、補助金などの法人に帰属する収入で、488億5,200万円となり、対前年度比較で2億6,100万円の減となりました。基本金組入額は、施設設備あるいは将来の施設取得に係る積立金や基金などに充当するもので、31億7,400万円となり、対前年度比較で2億7,400万円の減となりました。帰属収入から基本金組入額を控除して消費支出に充当することができる消費収入は、456億7,800万円となり、対前年度比較1,200万円の増となりました。

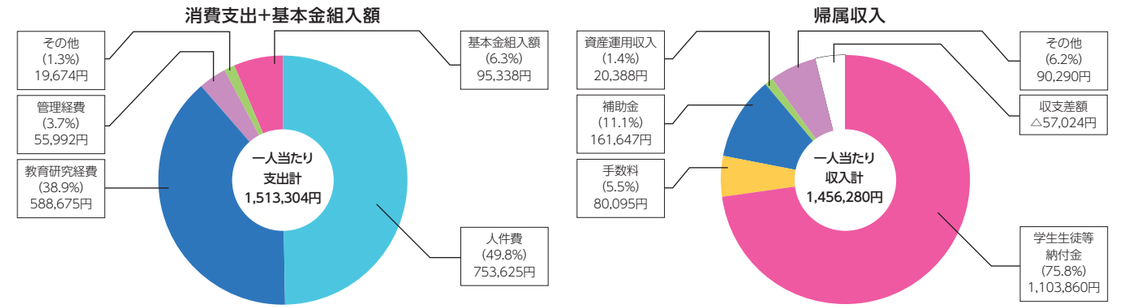
消費支出は、教職員の人件費、教育研究活動及び法人の運営に必要な諸経費で、475億9,100万円となり、対前年度比較で6億7,200万円の増となりました。平成26年度予算における消費収支の均衡状況をあらわす消費収支差額は、19億1,300万円の支出超過となり、対前年度比較で6億6,000万円の増となりました。この結果、次年度へ繰越すことになる繰越消費支出超過額は、前年度からの繰越消費支出超過額421億8,800万円に、当年度消費収支差額19億1,300万円を加え、基本金取崩額を差し引いて438億100万円となりました。

また、この累積消費支出超過額のほかに、建物などの取得に際し、借り入れた借入金の未返済額にあたる基本金未組入額が81億8,800万円あり、この2つを合わせた519億8,900万円が実質上の繰越消費支出超過額となります。

なお、平成26年度の予算書をはじめ、関西大学の財務情報を「関西大学ウェブサイト」に掲載しておりますので、一度ご覧ください。

http://www.kansai-u.ac.jp/zaimu/

平成26年度　消費収支予算における「学生生徒等一人当たりの支出とこれを賄う収入」



(注) 1 (消費支出+基本金組入額) 及び帰属収入の予算額を、科目ごとにそれぞれ予算学生数33,546人 (大学院・学部・留学生別科・高校・中学校・小学校・幼稚園の学費納入者合計) で除して、学生生徒等一人当たりの平均値を示したものである。
2 「基本金組入額」とは、校地、校舎、機器備品、図書などの取得、あるいは、そのための借入金の返済、又は将来取得のための積立金などの主として資本的支出に充てる額である。

資金収支予算書(総括)　平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位 千円)

支出の部				収入の部			
科　目	26年度予算	25年度予算	増減	科　目	26年度予算	25年度予算	増減
1 人件費支出	25,166,252	24,873,344	292,908	1 学生生徒等納付金収入	37,054,317	37,136,171	△ 81,854
2 教育研究経費支出	13,824,681	13,735,482	89,199	2 手数料収入	2,697,660	2,595,380	102,280
3 管理経費支出	1,700,762	1,701,322	△ 560	3 寄付金収入	600,000	390,000	210,000
4 借入金等利息支出	80,218	102,296	△ 22,078	4 補助金収入	5,427,617	5,996,441	△ 568,824
5 借入金等返済支出	1,037,090	851,470	185,620	5 資産運用収入	682,428	605,200	77,228
6 施設関係支出	5,434,332	4,587,859	846,473	6 資産売却収入	600,000	32,351	567,649
7 設備関係支出	1,028,492	2,633,591	△ 1,605,099	7 事業収入	1,001,792	1,050,644	△ 48,852
8 資産運用支出	2,824,809	4,564,013	△ 1,739,204	8 雑収入	1,255,555	1,221,340	34,215
9 その他の支出	3,202,120	3,554,634	△ 352,514	9 借入金等収入	2,000,000	2,116,000	△ 116,000
10 予備費	500,000	500,000	0	10 前受金収入	6,253,873	6,234,786	19,087
11 資金支出調整勘定	△ 1,831,086	△ 1,839,949	8,863	11 その他の収入	4,458,613	4,122,209	336,404
(小計)	(52,967,670	55,264,062	△ 2,296,392)	12 資金収入調整勘定	△ 7,113,570	△ 8,104,483	990,913
12 次年度繰越支払資金	13,135,453	11,184,838	1,950,615	(小計)	(54,918,285	53,396,039	1,522,246)
				13 前年度繰越支払資金	11,184,838	13,052,861	△ 1,868,023
支出の部　合　計	66,103,123	66,448,900	△ 345,777	収入の部　合　計	66,103,123	66,448,900	△ 345,777

(注)「25年度予算」は第3次補正後予算を示す。

消費収支予算書(総括)　平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位 千円)

消費支出の部				消費収入の部			
科　目	26年度予算	25年度予算	増　減	科　目	26年度予算	25年度予算	増　減
1 人件費	25,265,615	24,735,196	530,419	1 学生生徒等納付金	37,054,317	37,136,171	△ 81,854
2 教育研究経費	19,770,824	19,505,339	265,485	2 手数料	2,697,660	2,595,380	102,280
3 管理経費	1,882,391	1,932,757	△ 50,366	3 寄付金	728,000	508,000	220,000
4 借入金等利息	80,218	102,296	△ 22,078	4 補助金	5,427,617	5,996,441	△ 568,824
5 資産処分差額	92,181	143,615	△ 51,434	5 資産運用収入	682,428	605,200	77,228
6 徴収不能引当金繰入額	0	0	0	6 資産売却差額	4,994	643	4,351
7 徴収不能額	0	0	0	7 事業収入	1,001,792	1,050,644	△ 48,852
8 予備費	500,000	500,000	0	8 雑収入	1,255,555	1,221,340	34,215
				帰属収入合計	48,852,363	49,113,819	△ 261,456
				基本金組入額合計	△ 3,174,070	△ 3,447,979	273,909
消費支出の部合計	47,591,229	46,919,203	672,026	消費収入の部合計	45,678,293	45,665,840	12,453
				当年度消費支出超過額	1,912,936	1,253,363	659,573
合　計	47,591,229	46,919,203	672,026	合　計	47,591,229	46,919,203	672,026
当年度消費支出超過額	1,912,936	1,253,363	659,573				
前年度繰越消費支出超過額	42,187,722	40,934,359	1,253,363				
基本金取崩額	300,000	0	300,000				
翌年度繰越消費支出超過額	43,800,658	42,187,722	1,612,936				

(注)「25年度予算」は第3次補正後予算を示す。

予想貸借対照表　平成27年3月31日

(単位 千円)

科　目	26年度末	25年度末	増　減
資産の部			
固定資産	195,991,360	194,191,045	1,800,315
有形固定資産	114,848,712	114,466,825	381,887
その他の固定資産	81,142,648	79,724,220	1,418,428
流動資産	14,508,223	13,948,903	559,320
資産の部　合　計	210,499,583	208,139,948	2,359,635
負債の部			
固定負債	20,138,384	19,163,241	975,143
流動負債	9,809,609	9,686,251	123,358
負債の部　合　計	29,947,993	28,849,492	1,098,501

科　目	26年度末	25年度末	増　減
基本金の部			
第1号基本金	201,091,310	197,996,748	3,094,562
第2号基本金	100,000	400,000	△ 300,000
第3号基本金	19,905,938	19,875,430	30,508
第4号基本金	3,255,000	3,206,000	49,000
基本金の部　合　計	224,352,248	221,478,178	2,874,070
消費収支差額の部			
翌年度繰越消費支出超過額	△ 43,800,658	△ 42,187,722	△ 1,612,936
消費収支差額の部　合　計	△ 43,800,658	△ 42,187,722	△ 1,612,936
負債の部・基本金の部及び消費収支差額の部　合　計	210,499,583	208,139,948	2,359,635

学部・研究科トピックス

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、
トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

法学部／法学研究科

長さがそろわない

北宋の建隆年間（960～963）のことです。竹木務（将作監に属する。材木を集めて供給することをつかさどる）の管理官が、蓄えてある材木の長短がそろっていないのを気にして、切って長さをそろえてもよいでしょうかと上申しました。太祖皇帝はその上申状に返事を書きつけました。「あなたの手足の指には長短がないのですか。長短があるのにどうして切りそろえないのですか。長いものは長いままに、短いものは短いままにしておきましょう」。（『説郛』所載、司馬光『涑水記聞』）

（教学主任　佐立治人教授）

文学部／文学研究科 東アジア文化研究科

辞書になった男

『辞書になった男』という本が話題になっている。同じ出版社から性格の異なる二つの国語辞典が出されているのを取り上げ、共に辞書作りに挑んだ二人の学者が、やがてお互いの理想の辞書作りを目指すドキュメンタリーである。相いれないような二人の決別の背後にある、辞書に対する二様の信念と互いの心情を、繊細かつ大胆に描いている。二人を知る者にはひやひやものであるが、多様な人文学の方法を考えずにはいられない。相いれない方法にも畏敬の念を持ち続けたいものである。新入生へ。

（副学部長　乾善彦教授）

経済学部／経済学研究科

経済学会主催学生懸賞論文表彰式

経済学会では毎年、学生懸賞論文を実施しています。今年度は23本の応募があり、どれも力のこもった研究内容でした。審査の結果、2等3本（最優秀賞含む）、3等4本、佳作6本という結果になりました。3月10日に表彰式があり、植村学部長から表彰状および賞金が各受賞者に手渡されました。

（経済学会委員（庶務担当）　清水崇教授）

商学部／商学研究科

BestAの参加者を募集しています

商学部では、海外ビジネス英語プログラムBestA（Business English Study Abroad）の参加者を募集しています。このプログラムの特徴は、ショップでのインタビューやトラベル・プロジェクトなど、ビジネス英語の習得に特化している点にあります。申し込み方法などの詳細は、パンフレットなどを参照して下さい。

（岩崎拓也准教授）

社会学部／社会学研究科

音楽をもっと学びたい人へ

来年から音楽メディア研究プログラムがスタートします。最先端の音楽制作、ビジネスモデルから文化、歴史、メディアテクノロジーとの関連まで、多面的に学ぶことができます。また、スマートフォンとSNSという現在のメディア環境の中で、音楽産業やオーディエンスがどうなっていくのか、リアルなプロジェクトとも連携して考えていきます。産業と文化（社会学）の両面からアプローチできる全国でも類がないプログラムですので意欲のある人はぜひ応募してください。（現行2年次生対象秋学期募集）

（三浦文夫教授）

政策創造学部／ガバナンス研究科

大阪でも被災者支援を行っています

東日本大震災の直後から学部生が福島などでの支援活動を行っていますが、活動は現地だけではなく、地元の大阪でも始めています。例えば福島から大阪に避難してきた子どもたちへの学習支援もその一つです。既に堺市を拠点に中学1年生までの子どもたち6人に俳句を作ってもらったり、「子どもに携帯は必要か」というテーマで討論させたり、と学生なりに工夫しながら取り組み、指導役の私の勉強にもなります。

（深井麗雄教授）

外国語学部／外国語教育学研究科

教育懇談会が開催されます

5月18日（日）、皆さんの保護者（父母）を対象に、関西大学教育後援会総会（午前）と外国語学部教育懇談会（午後）が開催されます。教育懇談会では、外国語学部の特色である2年次のStudy Abroadプログラムの説明、カリキュラム内容の説明、学生生活や就職活動についての説明などを行い、その後、個人別相談コーナーにて個人別の懇談も行います。学生の皆さんが外国語学部でどのように過ごしているかを保護者の方に知ってもらうために、ぜひ皆さんから声を掛けてみてください。

（山西博之准教授）

人間健康学部／人間健康研究科

先輩に続いて夢の実現を!

新年度が始まって1カ月がたち、本学部一期生としてこの3月に卒業された皆さんの先輩は教員、警察、消防、福祉職などの公務員、銀行やスポーツ用品メーカー、また大学院進学など、それぞれの進路で活躍されています。ぜひ先輩に続いて、皆さんも夢を実現してもらいたいと思います。そのためにも、どのような進路においても必要となる思考力や文章力、プレゼンテーション能力を高めるトレーニングを今から授業などを通じて、大いに積んでおきましょう。

（志岐幸子准教授）

総合情報学部／総合情報学研究科

マナーアップ作品コンクールを実施

公共空間の利用マナー向上をテーマとしたポスターや動画作品を募集する「マナーアップ作品コンクール」を実施し、4月2日に最優秀賞をはじめ優秀賞、市バス賞の表彰式を行いました。受賞作品はK棟ギャラリーなどで展示・上映され、ポスターは高槻市営バス車内にも掲示される予定です。

（高槻キャンパスオフィス）

社会安全学部／社会安全研究科

社会安全体験実習Ⅱを実施

滋賀県東近江市の「クレフィール湖東」にて1泊2日の体験実習を実施しました。2年次生の必修科目である本実習においては、さまざまな交通場面に潜むリスクの特徴とそれらへの対処方法について、実際に体験しながら学びました。インストラクターによる専門的な講義を基礎として学生同士でグループ討議を行い、交通参加者の安全の在り方について考えを深めました。実習に対する学生の評価も高く、「学部の特色科目として今後も継続してほしい」といった声が多数聞かれました。

（城下英行助教）

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部／理工学研究科

新入生を迎えた理工系3学部

4月1日に入学式が挙行され、システム理工学部、環境都市工学部、化学生命工学部は、それぞれ547人、398人、358人の新入生を迎えました。入学式や新入生歓迎特別行事では、楠見学長や各学部の学部長より力強いエールが送られ、新入生の皆さんにとって身の引き締まる一日となったことでしょう。この新しい学習環境で知識を深く吸収し、物事をじっくりと考えることで、実りある学生生活を送られることを心から期待します。

また、理工系学部では、システム理工学部に4人、化学生命工学部に3人の新任の先生方をお迎えして新年度のスタートを切りました。新入生の皆さんと同じく、新任の先生方も新しい気持ちで関西大学での教育・研究活動を開始されたことと思います。

昨年8月に始まった、第2実験棟の建て替え工事が9月に完了する予定です。新入生の皆さんには今年の秋学期以降、新しい実験設備で化学実験の講義や実習が行われます。

5月18日（日）には教育後援会総会・学部別懇談会が予定されています。多くのご父母が参加され、学生の皆さんの生活の様子を知ってもらい、就職や大学院進学についての情報に耳を傾けていただけることを期待します。

（環境都市工学部副学部長　山本秀樹教授）

専門職大学院トピックス

法科大学院

2013（平成25）年度「法科大学院認証評価」において「適合認定」を受けました。

公益財団法人大学基準協会による2013（平成25）年度法科大学院認証評価の結果、法科大学院基準への「適合認定」を受けました。この結果は、法科大学院の全教職員による努力が正当に評価されたものとして大変うれしく、また誇らしく思います。

今回の認証評価の結果を励みに、全教職員が一丸となって、充実した法科大学院教育のためにさらなる努力を積み重ねることをお約束します。

（法務研究科長　木下智史教授）

併設校トピックス

関西大学第一中学校

関大一中生の看板がJR紀伊日置駅に

4月8日、JR紀勢本線の紀伊日置駅に、関大一中生が制作した横約7m×縦約1mの看板が、設置されました。この企画は、現3年生が昨年11月に自然教室で白浜町に宿泊した時に、JR白浜駅の駅長さんから「日置川地区と関係の深い、関大一中にぜひとも作ってもらいたい」と依頼を受け、南紀州交流公社から材料を送っていただき、関大一中で制作しました。看板のデザインは主に美術部が考え、キャッチコピーは生徒会主催で全校生徒から公募し決定しました。制作期間は3カ月で、生徒会、美術部、生徒有志で作り上げ、日置川の四季をイメージした、爽やかなデザインになっています。これから紀伊日置駅で、たくさんの方の癒やしとなってくれれば、うれしく思います。

（第3学年主任　城敦夫）

Attention 大学からの重要なお知らせ

2014年度 春季人権啓発行事

下記の要領で、人権問題に関する講演会を開催します。詳細については、各オフィスで配布している案内リーフレット『人権を考える』を参照してください。多くの学生・教職員の来場を期待します。

手話通訳、パソコン文字通訳を準備いたしますので、必要な場合は、開催日の1週間前をめどに学長課［TEL：06-6368-1121（大代表）］へご連絡ください。

【千里山キャンパス】

5月13日（火）第5時限	テーマ：**傷ついた街に、全国から人を呼び込みたい 東日本大震災からの復興めざす岩手県大槌町** 講　師：臼沢和行 氏（一般社団法人おらが大槌夢広場 代表理事） 時　間：16:20～17:50 場　所：千里山キャンパス　第2学舎　C301教室
5月14日（水）第2時限	テーマ：**滋賀県豊郷町の人権施策について ～一人ひとりの人権が大切にされるまちづくりをめざして～** 講　師：鈴木雅信 氏（滋賀県豊郷町 人権政策課 課長） 山崎真由子 氏 （豊郷町役場隣保館勤務 社会教育指導員（人権担当）） 時　間：10:40～12:10 場　所：千里山キャンパス　第1学舎　E503教室
5月22日（木）第3時限	テーマ：**ユニバーサル社会―多様な働き方の創出―** 講　師：竹中ナミ 氏（社会福祉法人プロップ・ステーション 理事長） 時　間：13:00～14:30 場　所：千里山キャンパス　第2学舎　E301教室
5月22日（木）第5時限	テーマ：**被害実態から考える「ヘイトスピーチ」** 講　師：中村一成 氏（フリージャーナリスト） 時　間：16:20～17:50 場　所：千里山キャンパス　第3学舎　D302教室

【高槻キャンパス】

5月23日（金）第2時限	テーマ：**テレビの喋り手として人権問題を考える** 講　師：堀江政生 氏（朝日放送株式会社 編成局 アナウンス部 課長） 時　間：10:40～12:10 場　所：高槻キャンパス　TB107教室

【高槻ミューズキャンパス】

5月29日（木）第3時限	テーマ：**介助犬を知っていますか? ～介助犬シンシア、エルモとともに～** 講　師：木村佳友 氏（日本介助犬使用者の会 会長） 時　間：13:00～14:30 場　所：高槻ミューズキャンパス　ミューズホール

【堺キャンパス】

5月19日（月）第2時限	テーマ：**手話という言語学習を通して知る人の魅力** 講　師：西田功 氏（公益社団法人 大阪聴力障害者協会 大阪ろうあ会館 厚生労働大臣公認手話通訳士） 時　間：10:40～12:10 場　所：堺キャンパス　SA202教室

KANDAI Topics

関大トピックス

公式ポータルアプリ「モバイル関大」を公開

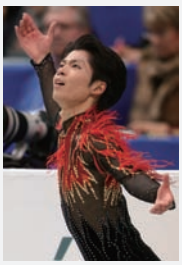
関西大学では、学生・教職員や一般の方も利用できる無料のモバイルポータルアプリ「モバイル関大」を公開しました。このアプリは有志の学生グループからの発案で開発をスタート。ITセンターの職員やアプリ開発会社の協力のもと開発しました。学生・教職員向けには、インフォメーションシステムのお知らせ表示や、履修科目・成績照会などの教務情報、教室MAP、キャンパスのリアルタイムな天気情報の閲覧・投票などのメニューがあり、スマートフォンで手軽に利用することが可能です。学生・教職員以外の方は、学内施設やキャンパスマップ、交通機関、キャンパスの天気情報の機能を利用できます。また、スマートフォンを使う学生の意見を取り入れ、メニュー画面はアイコンの大きさや配置も含め、より使いやすいようにカスタマイズできます。

「モバイル関大」はアプリストアからダウンロード可能です。

ポータルトップ画面

世界フィギュアスケート選手権大会で、体育会アイススケート部の町田樹さんが2位

3月26～30日に、さいたまスーパーアリーナで開催されたISU世界フィギュアスケート選手権大会2014で、体育会アイススケート部の町田樹さん（文4）が、男子シングルで2位に入り、銀メダルを獲得しました。ショートプログラムでは98.21点で首位に立ち、フリースケーティングでも184.05点を記録。合計点はトップにわずか0.33点及びませんでしたが、282.26点と自己ベストを大きく更新し、銀メダルを獲得しました。



佐藤柊果さんが、第41回全国学生岩岳スキー大会基礎スキーの部・個人演技女子で優勝

3月5日に長野県で開催された「第41回全国学生岩岳スキー大会」で、経済学部4年次生の佐藤柊果さん（所属サークル：関西大学基礎スキークラブ）が、基礎スキーの部・個人演技女子で優勝を果たしました。

1974年から開催されている全国学生岩岳スキー大会には、毎年、全国の大学から約400クラブが出場しています。佐藤さんは、約200人が出場した決戦で、パラレルターン小回り1位、パラレルターン大回り1位、総合滑降3位という成績を収め、同競技種目を制しました。

高槻キャンパス祭を開催します

5月25日（日）、高槻キャンパスにて高槻キャンパス祭が開催されます。このキャンパス祭は、総合情報学部祭典実行委員会が企画・運営を行い、高槻市、高槻市教育委員会の後援のもと、今年で20回目を迎えます。当日は、総合情報学部生による模擬店や市民の方々も参加するフリーマーケット、総合情報学部ならではのスタジオイベントも予定されています。他キャンパスに通う総合情報学部以外の学生の皆さんも、もちろん参加OK！新緑豊かな高槻キャンパスにぜひ足を運びましょう。

昨年の高槻キャンパス祭の様子

年史資料展示室で、平成26年度企画展を開催しています

現在、年史資料展示室で本年度の企画展「Start for Next　―関西大学第一高等学校・第一中学校創立100周年記念展」を開催しています。1913年、関西大学第一高等学校・第一中学校の前身である関西甲種商業学校が創立され、昨年100年を迎えました。その歴史をさまざまな写真・資料で振り返り新たな世紀に踏み出した両校の将来を展望します。

開館時間・会場

10:00～16:00
関西大学千里山キャンパス
簡文館1階
日曜・祝日・大学が定めた休日は休館となります。

入館料

無料

企画展のチラシ

関大人　四方山話（よもやまばなし）◆「お金のかからない趣味」

関西大学教育後援会 幹事長　横山博行

加齢とともに体力だけでなく、あらゆる力が落ちてきた。若いころのようにいかないのは当然と諦めているものの、仕事の面で支障を来すとなると放ってはおけない。特に悩ましいのが記憶力の低下と滑舌の悪さだ。いずれも今に始まったことではないにせよ、後者がここ数年著しくなっている。何とかしようとあれこれ思案し、古典的な方法だが「暗唱」を始めるようになった。やってみると、これが意外に面白い。必要なのは、やる気だけ。材料は無限にある。それなりに達成感が得られ、ささやかな自信にもつながる。気楽でお金がかからない点もよい。課題の克服に向けて効果のほどは不明だが、予期せぬかたちで新たな趣味が見つかったように思う。ただ今『おくのほそ道』に挑戦中。白川（白河）の関を越えた辺りで足踏みしており、大垣までは遠い。さあ、今日もぶつぶつ、明日もぶつぶつ。

編集後記

風薫る5月。花々が咲きそろい、新緑が美しい好季節になりました。新入生はキャンパスライフに慣れたでしょうか。今回の関大誌上教室は「関大生の“時間の有効活用法”」。大学生活を楽しむには、授業への参加だけでなく、空き時間に図書館（「なるほど・ザ・関大」で100年の歩みを振り返っています）をはじめ、キャンパス内外のさまざまな設備や環境資源に親しみ、それを活用するとよいでしょう。今回の通信を参考に、キャンパスライフを豊かにしてくれるものを探し出してください。（広報委員・人間健康学部教授　黒田研二）

今月の表紙：原田真歩さん（社3）、大本亮さん（社3）、武久嘉純さん（社3）、三上亮さん（経4）、乾彩香さん（法2）、井口高志さん（法2）、藤原義希さん（化生2）、牧田梨央さん（環2）、大橋礼奈さん（環2）、八田祥汰さん（文4）

関西大学通信 “KANDAI STYLE”
発行日：2014年5月1日（年9回発行）
発行：関西大学広報委員会
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
電話：06-6368-1121（大代表）